

烏丸通まちづくり協議会 設立趣意書

烏丸通は、明治45年に拡幅整備されて以降、京都の都心部を南北に貫く幹線道路であるとともに、その沿道に商業・業務施設が集積する京都のメインストリートです。また、大正天皇や昭和天皇の即位大礼の際には「行幸道路」となるなど、京都随一の格調ある通りです。

平成18年に、良好な商業・業務環境の創出に向けたルールの策定を目的に、烏丸通沿道の地権者によって「烏丸通沿道懇談会」が設立されました。平成20年のルール策定後も、街路樹イルミネーションなどのイベントによるにぎわい創出の取組を行ってこられました。

折しも、今年は、烏丸通の拡幅整備が行われてから100年という記念すべき年であり、また、烏丸通の丸太町通から御池通間の中央分離帯へ高木の植栽が行われ、烏丸通の道路環境整備事業が進められようとしています。

これらを契機に、今後より強力に取組を推進すべく組織を拡大する目的で、烏丸通沿道懇談会を発展的に解消し、新たな組織「烏丸通まちづくり協議会」を発足させる運びとなりました。

今後、新たな組織により、烏丸通が歴史や文化を大切にしたい賓客を迎えるにふさわしい気品高い通り、京都の産業をリードする通りとなることを目指し、沿道環境整備の推進やさらなるにぎわい創出に向けた取組を進めたい次第です。

以上の考え方から、烏丸通沿道の方々や、組織の活動の趣旨に賛同されるの方々によって、「烏丸通まちづくり協議会」を設立します。

平成24年12月25日

烏丸通まちづくり協議会 会員一同